

地域の文化・生活を支えてきた森林資源「**秋田スギ**」の価値を再整理し、川上（山）から川下（建築・工芸品等）までのストーリーを付加価値化することで「**秋田スギのふるさと**」としての地域の価値を高めるとともに、「**木を使う**」ことへの意識醸成を図ることを目的とします。

～「秋田スギ」の美しさ・歴史を感じる～

「天然秋田スギと歴史の道」散策会

平成15年に文化庁選定「後世に残すべき文化的景観」に選ばれた“矢立峠・天然秋田スギ林”において散策会を実施するとともに、地元ガイドによる矢立峠にまつわる歴史（吉田松陰：「東北遊日記」、イザベラ・バード：「日本奥地紀行」など）を解説。



～「秋田スギ」空間を体験する～

「旧桜場文蔵邸 桜櫓館」見学

「秋田スギ」が活用された木造建築物を見学。



～「秋田スギ」と地域の関わりを知る～

「郷土博物館」見学

地域の自然・産業・歴史などを学ぶため、自然・生物や林業に関する展示品と曲げわっぱ展示室の見学。



～「秋田スギ」を五感で感じる～

「伝統的工芸品製作体験」

伝統工芸品大館曲げわっぱの製作体験を実施。実際に「秋田スギ」に触れることで、木目の美しさ、肌触り、香りなどを感じる。



「秋田スギ」に重きを置いたプログラムを実施することで、本地域の「秋田スギ」へのこだわりを感じてもらうとともに、インバウンド目線で新たな「宝」を発見してもらおう機会とする。